



# ナース★アクション

憲法でアクション!! ケアこそ未来を切り拓く



vol.14

2024.7.11  
全日本民医連  
職員育成部

<https://kirarikango.com/>

## ナース★アクション2024全国学習実践交流集会で今夏以降のアクションを確認 今こそ「オール地域」で「たたかい」の前進を

去る7月1日(月)にオンラインで標題の集まりを開催し222人が参加。2度の通常国会に対する運動で築いてきた賛同の拡がり、多彩で豊富な取り組み、地域での共同や看護学生の立ち上がり、確信を深め、夏以降のアクションの意思統一をはかりました(別紙参照)。

I. 「高等教育無償化を求める請願署名」は12月末まで継続します。II. 7月末まで「看護学生全国アンケート調査」への協力の呼びかけをお願いします。<https://kirarikango.com/news/news-5202/>  
III. 「診療報酬の再改定をめざすたたかい」を具体化します。①「自治体向け団体署名」「地域医療機関への働きかけ」、②都道府県議会傍聴(ウォッチ)の具体化、③職能団体との懇談など、県連・法人・事業所で地域から大きな運動を創りましょう。〔6月25日付 通達第ア-154号〕

※尚、「病院看護職員不足アンケート」の〆切りは明日12日です。ご協力をお願いします。

### ◆報告[レクチャー]①◆

『北海道の取り組みの紹介』北海道勤医協 統括看護部長 須田倫子さん

北海道はこの問題をどのように考えているのだろうかという問題意識を持ち、北海道保健福祉部との懇談、道議会全会派への要請、記者会見を行い看護現場と看護学校のリアルを整理して伝えた。その後道議会保健福祉委員会委員長が中心となり『将来にわたり安全安心な医療介護制度の提供を求める国に対しての意見書』がとりまとめられ、道議会全会一致で可決され国に提出された。声を届けること、政治を変えるためには、行動が必要だということを強く感じた。



### ◆報告[レクチャー]②◆

『大人の社会科見学「県議会ウォッチャー(傍聴)」に私たちが取り組む理由』

山梨民医連看護委員会 新田瑶子さん

コロナ禍で医療崩壊の危機に直面していた時に、山梨県議会では富士山の麓でファッションショーをしようなど、私たちの感覚と全くかけ離れた議事に終始していた。県連事務局長の議会傍聴の話を知り、看護師長研修に県議会傍聴を組み込みました。傍聴参加者による報告会を毎回行い、廊下まで響く笑い声や怒りの声で政治談議が盛り上がった。自分の目で見て耳で聞くというのは得難い体験学習となっている。

### ◆報告[レクチャー]③◆

『日本学生支援機構給付型奨学金及び修学支援新制度の概要と問題点』

山梨民医連 共立高等看護学院 事務長 浅川雄一さん

文科省は「2020年4月から就学支援新制度を設けて経済的に困窮されている方への学びの支援を行っている」と説明しているが、大きな問題点がふたつある。①世帯年収という家族全員の収入を合算して認定する方式なので、学生がアルバイトをすると収入とされ認定取り消しという事例が発生してしまうことがある。②学校の母体法人が赤字だと日本学生支援機構の学費減免や給付型奨学金を申請する確認学校になれない。学生には全く関係ない事であり、しかも私立学校だけに課される厳しい要件がたくさんあり、撤廃すべき。



◎関連する通達・資料はすべてきらり看護の職員のページにも掲載しています

<https://kirarikango.com/>

